

農業高校から国公立大学を目指す進学指導

1. 進路状況

1)令和2年度 3学年 進路状況

クラス	卒業生数		大学		短大		専門学校		農林大学校		就職		公務員		研修		自営		未定		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
植物科学科	17	20	4	1	0	2	2	5	4	3	6	8	1	0	0	0	0	1	0	0	17	20
バイオテクノロジー科	23	17	4	3	0	1	4	5	4	0	9	7	2	0	0	0	0	1	0	0	23	17
動物科学科	6	34	2	7	0	3	0	15	0	2	4	7	0	0	0	0	0	0	0	0	6	34
緑地土木科	27	13	6	0	0	2	6	9	1	0	12	2	2	0	0	0	0	0	0	0	27	13
食品文化科	12	27	2	4	2	5	4	13	0	0	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	12	27
グリーンライフ科	8	31	1	3	0	2	1	17	0	0	6	9	0	0	0	0	0	0	0	0	8	31
合計	93	142	19	18	2	15	17	64	9	5	41	38	5	0	0	0	0	2	0	0	93	142
	235		37		17		81		14		79		5		0		2		0		235	

* 国公立大学進学指導基本方針

- ①大学進学指導を通して、生徒が持っている潜在的能力を引き出す「**気づきの指導**」を徹底的に行う。
- ②教員の**固定概念を打破（補習を減らし授業で勝負）**して、柔軟な指導を展開する。
- ③「チーム勢多農」として、各科・教員間の**垣根を乗り越える**柔軟な指導体制
- ④徹底した情報戦略の構築と**各大学との繋がり**を強める指導体制
- ⑤農業高校の**魅力と付加価値に気づく指導**(今学んでいる授業・活動こそが大きな武器)

2 国公立大進学指導の推移

1) H23～H25：「**従来型の進学指導**」

- ①長期休業中や放課後進学希望者への基礎学力向上の補習
- ②農業クラブでの全国大会出場・優秀賞最優秀賞取得を目指す
- ③生徒の希望に応じて対応
- ④担任主導の進学指導
- ⑤特定の担当教員(進学係等)による進学指導

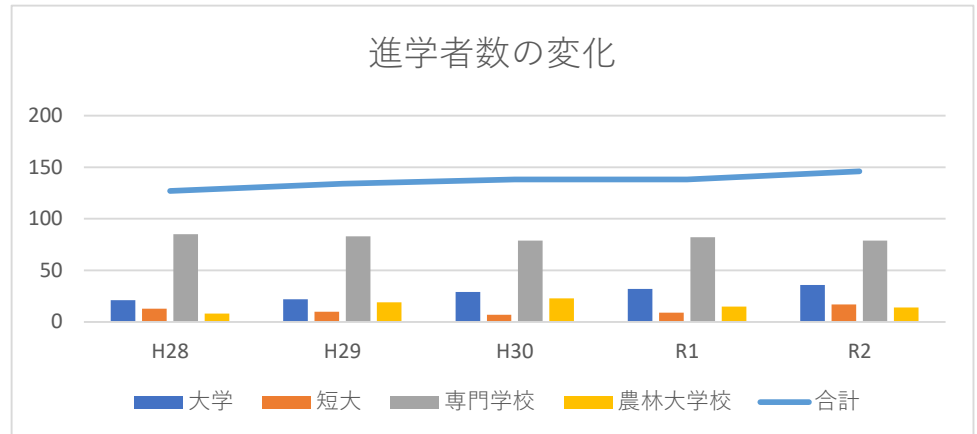
2) H26～R2：「**授業で実現させる進学指導**」

- ①従来型進路指導からの脱却＝**授業で勝負!**・・・不足分は資格取得(英検など)・情報端末機の活用
- ②**高校3年間生徒の好きなものに熱中させる**＝部活動・農業クラブ・課題研究活動・ボランティアなど
- ③**農業教育の王道を征く**＝進学・就職のできる学校(当初就職希望者であっても進学希望が叶う。逆もあり)
- ④進路指導部＝各学年＝各学科の連携強化
- ⑤普通教科教員の活用＝大学進学指導や大学受験の知恵を活用
- ⑥目に見えない付加価値と魅力を**数値化する**＝**気づきの指導**
- ⑦チャンスは複数回作り**安心して受験**できる体制を作る＝最終合格校を見つけておく
- ⑧WE Bの活用＝**進路動画配信**

3. 「授業で実現させる進学指導」の成果（進学者数の推移）

1) 過去5年間の進学希望者数

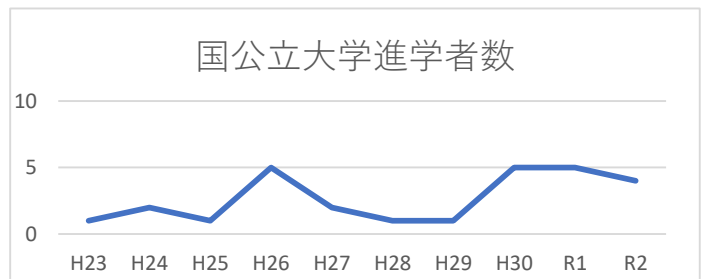
進学先	H28	→	R2
大学	21	→	36
短大	13	→	17
専門	85	→	81
農林大	8	→	14
合計	127	→	148



2) 国公立大進学の数

①過去10年間大学進学指導の変化

- ・ H23～H25：「従来型の進学指導」
- ・ H26～R2：「授業で実現させる進学指導」



②大学進学指導の実践

- ・ 学年単位での進路指導←進路指導部・学年主任・農場長・各学科のバックアップ体制強化
- ・ 担任進学指導力の向上＝普通科教員の活用
- ・ 進学先の絞込→大学訪問・全国公立大学試験日程スケジュール化
- ・ 進学指導の絞込＝「小論・面接指導」の徹底化と基礎学力は「授業で勝負」＝農業教育の王道征く

4. 「授業で実現させる進学指導」方針による実績比較(過去10年)

